

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	拍動する心筋細胞シートを用いた伸縮性多点電極アレイによる薬物反応の評価
研究代表者	<p>染谷 隆夫 （東京大学・工学（系）研究科（研究院）・教授） ※平成29年6月末現在</p>
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>応募者は、フレキシブルエレクトロニクスに関する研究においてこれまで世界をリードする先駆的な研究業績を上げ、国際的にも高い評価を受けている。本研究は、独創性の高い伸縮性多点電極アレイを用いて、心筋細胞の多点・リアルタイム測定を可能にする強力なツールを提供するものである。基盤研究としてのインパクトのみならず、応用の観点からも重要である。ただし、心筋細胞の薬物スクリーニングに応用する際、多点電極アレイのナノファイバメッシュによるローカルな収縮力計測等とスクリーニング上の病理との関係を明確にすることが望まれる。</p> <p>応募者の高い研究遂行能力から、医学関係者との連携を強化することで、十分な研究成果を上げることが期待され、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>